

2.3 出水断層帯周辺

2.3.1 基本方針

出水断層帯周辺地域については、これまで活断層の存在は指摘されていなかったが、1997年 3月26日に、いわゆる「鹿児島県北西部地震(M6.5)」が、さらに 5月13日に近傍でM6.3の地震が発生したことをうけて、この地域において、当該地震によって生じた地表地震断層の有無や関連する活断層の有無を検討し、さらに、今後の地震防災計画を立案するために必要な詳細調査の必要性を検討することを目的として調査を実施した。

2.3.2 調査項目

上記の目的のために、今回は地形地質調査として文献調査、空中写真判読、地表地質踏査（概査）を行った。

(1) 文献調査

調査対象地域について、地形・地質・地震等に関する情報をあらかじめ把握し、以降の調査を適切に進めるため、既往の文献・資料等の収集、検討、整理を行った。

(2) 空中写真判読

調査対象地域について、縮尺1/10,000～40,000程度の空中写真を使用して、主にリニアメント、変位地形、段丘面等の判読・分類および活断層としてのランク分けを行い、以後の調査の実施個所選定等の基礎資料とした。

なお、空中写真判読は、地表踏査の進展をふまえ、その都度見直しを行った。これらの結果は、縮尺1/25,000程度の空中写真判読結果図として示した。

(3) 地表地質踏査（概査）

(1)と(2)の結果に基づき、活断層の可能性のあるリニアメントに沿って地表地質踏査を実施し、断層や変位地形および構成地質の把握に努め、地表地震断層や活断層の可能性の評価を行った。

これらの結果は、縮尺1/25,000のルートマップ図および地質図として示すとともに、重要露頭についてはスケッチ、写真撮影およびサンプリングを行い、代表サンプルの火山灰分析も行った。

(4) 解 析

(1)～(3)の結果をもとに、断層の有無・活動性・詳細な位置と長さ等について検討した。なお、今回の調査で本地域には地表地震断層あるいは活断層が存在しないと判断された。

2.3.3 調査数量

調査数量を表2.3.3-1に示す。

表 2.3.3-1 調査数量（出水断層帯周辺）

調査内容 調査対象	文献調査 (文 献)	空中写真判読 (km ²)	地表地質踏査 (概 査) (km ²)
出水断層帯周辺	14	44 (出水断層帯と 合わせた数量)	8

2.3.4 調査範囲

調査範囲を図2.3.4-1に示す。

2.3.5 調査フロー

今回の調査のフロー図を図 2.3.5-1に示す。

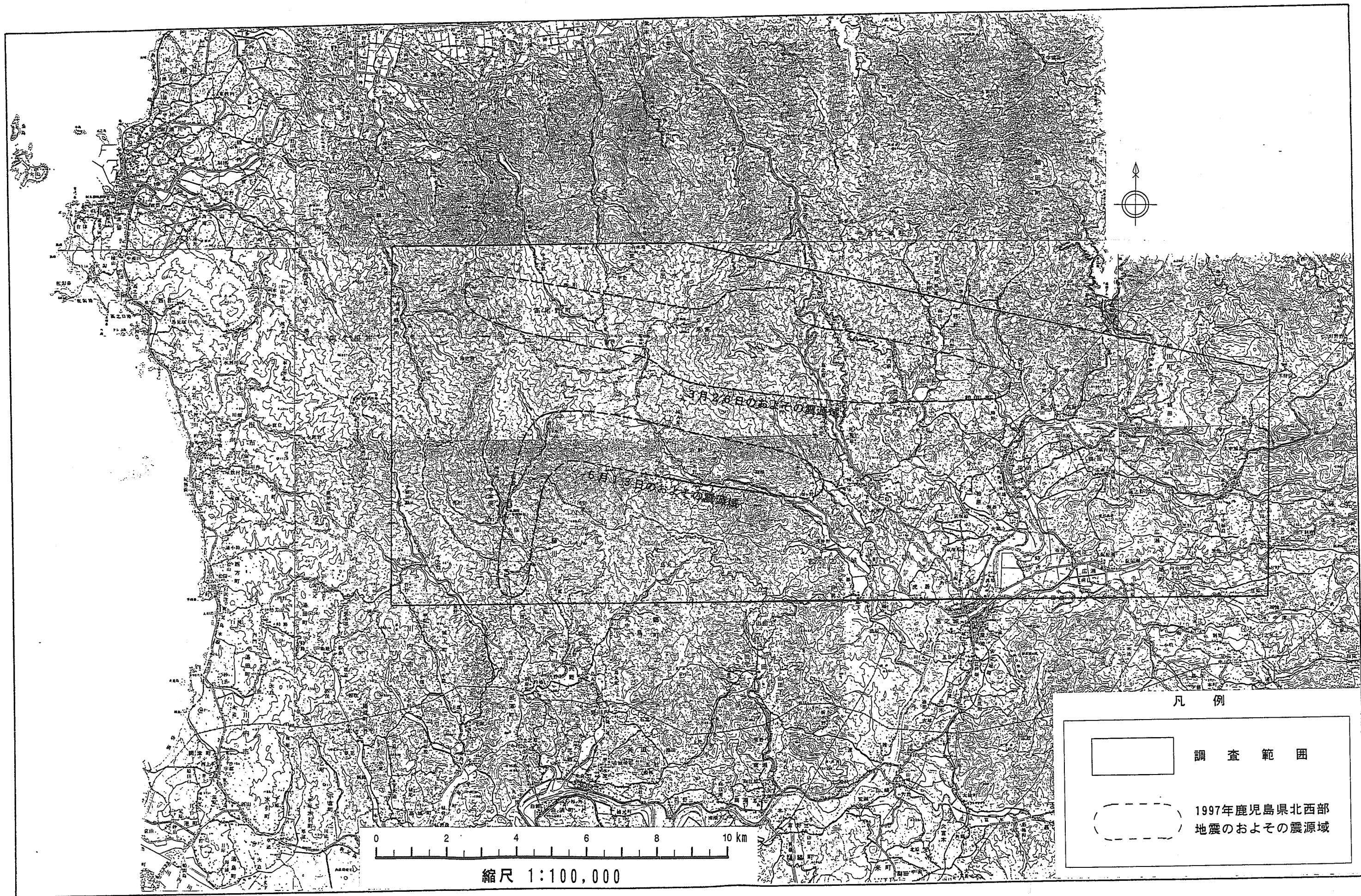


図2.3.4-1 調査範囲位置図（出水断層帯周辺）

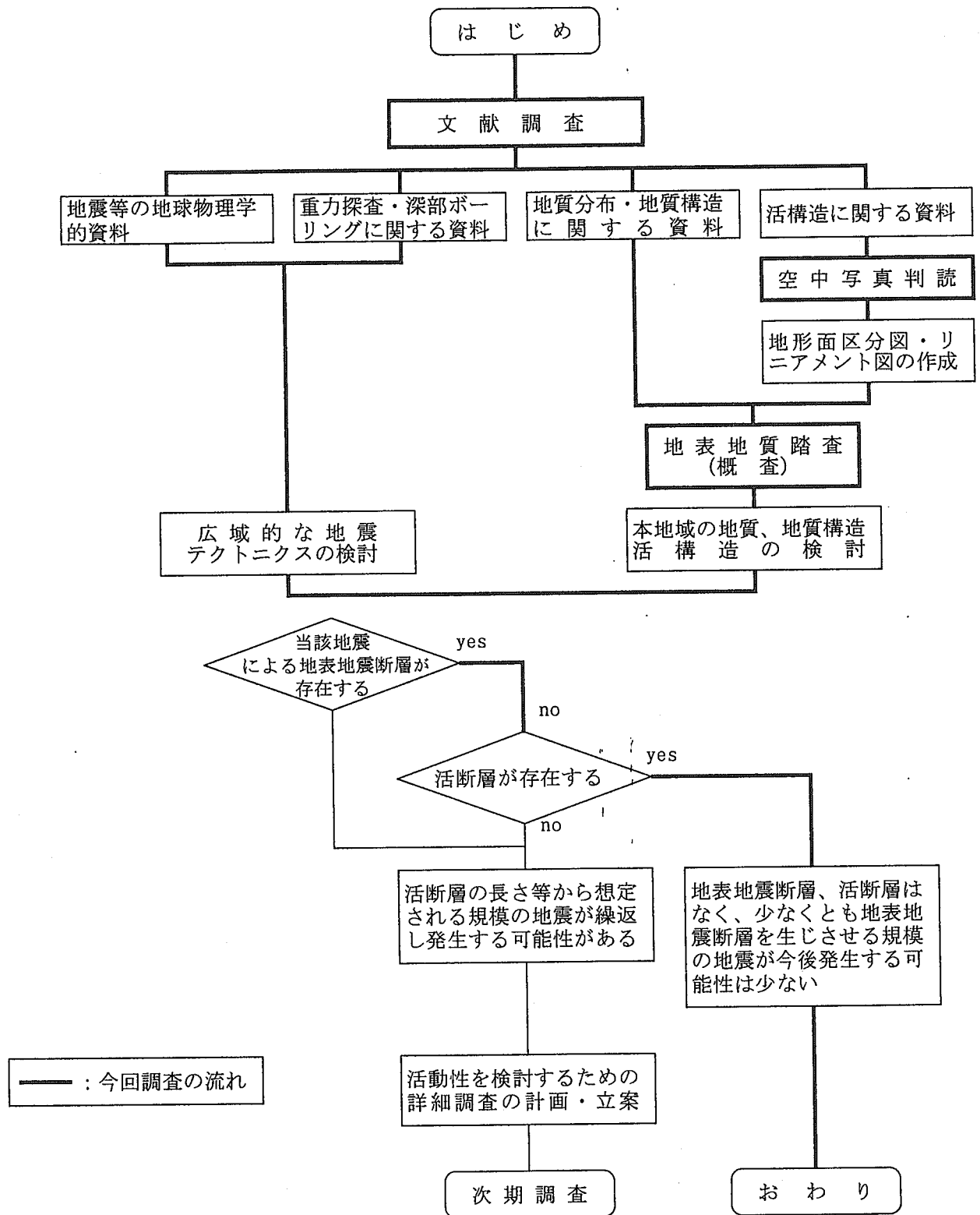


図 2.3.5-1 平成9年度 出水断層帯周辺の調査フロー